

●シリーズ 働くひと (2)

素朴な味守って40年

豆腐屋さん

上野 芳春さん

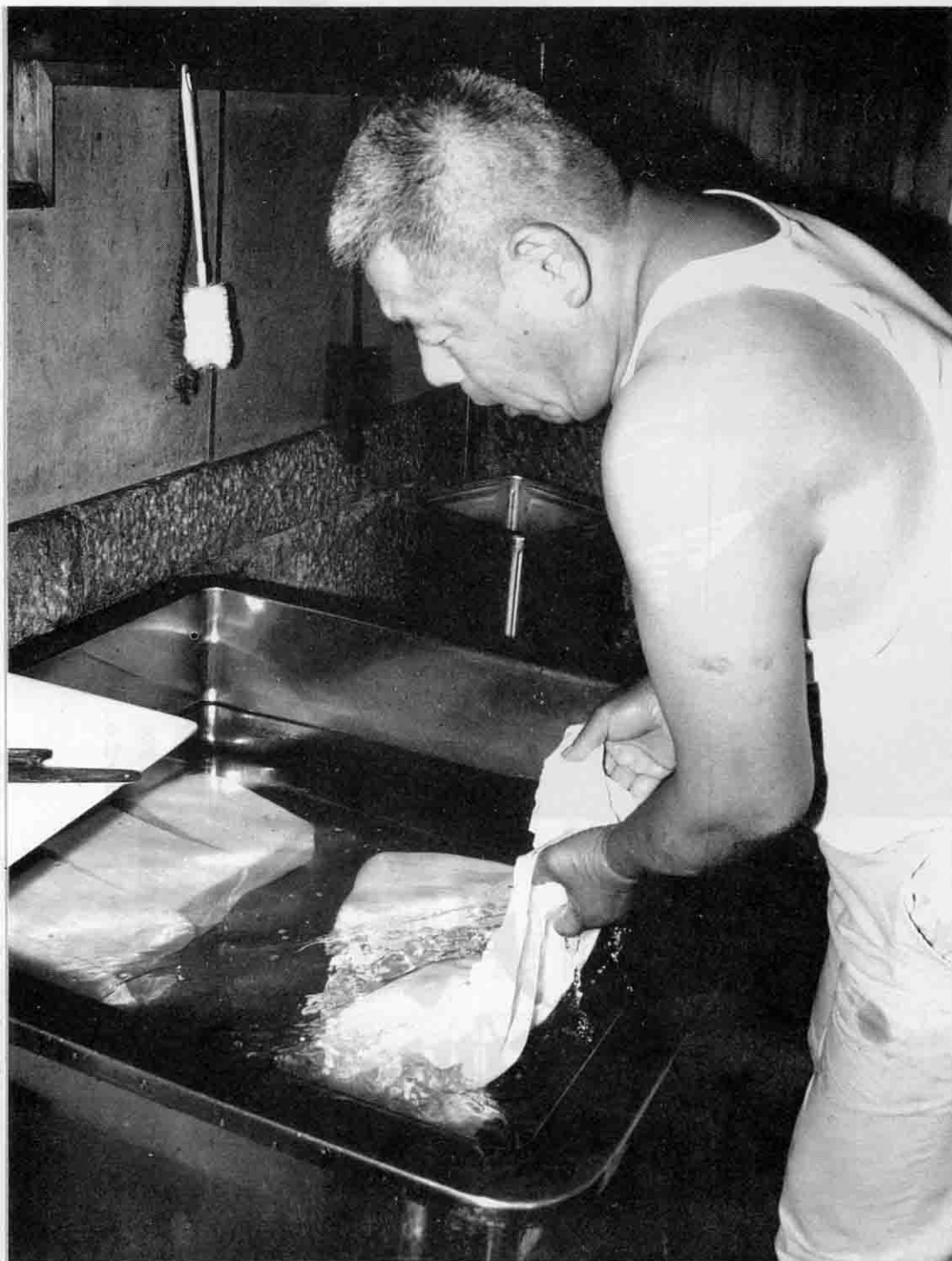
(大増・64歳)

「うちは昔ながらの手作りなので、店には卸さず、売りに歩くの
と自分の家で売的分だけ作るんだ」と話す上野さん。豆腐屋さんは明治初期のころから始め、芳春さんで三代目に当たるそうです。

豆腐作りは朝早くから始め、毎日作るとか。一晩水に浸した大豆を機械でひいて、大釜でゆでます。

ゆで上がったものを布で絞ります。これが「とうみ」と呼ばれるものです。「とうみ」に凝固剤を入れ、固まりかけたところを静かに揺き回し、型に入れて重しをして固めます。これで豆腐のできあがりです。機械を使うのは大豆をひくときだけで、あとは全部手作りです。湯を沸かす時もかまどに薪をくべ

て燃やし添加物は凝固剤のみです。「朝は早いけど、商売だから仕方ないね。午前中に売りに歩き、午後からは野菜づくりに精を出している。売りに行くとお得意様が待っていてくれるんだよ」と、豆腐作りを終えて話をする上野さん。豆腐を作って四十年の心意気が感じられました。



私たちの暮らしとともに



八郷 の 道

道は、長い歴史の歩みのなかで、常にその時代の経済や文化の発展に大きな役割を果たしてきました。そしてよりくらしに役立つ道をつくる努力が重ねられてきました。かつては、人や馬車がのんびり通った道は、数々の手が加えられ、今は車がめまぐるしく行き交っています。現代は車社会といわれていますが、それを支えているのは道です。日ごろ、なに気なく通っている道について8月の道路をまわる月間を機会に、いろいろな角度から見えてみることにしましょう。

町の発展に大きく貢献

いろいろ役立つ道路スペース

道路は、くらしのなかで、単に交通機能としての役割ばかりでなく、いろいろな役割を持っていきます。くらしに欠かすことのできない電気や上下水道、電話の収容スペースとして利用されるほか、住宅の密集しているところでは、採光や通風、防災上大切な空間となります。また、ゆとりある歩道は

人と人のふれあいや語らいの場としての空間でもあります。

道路は、通勤や通学などの日常生活や物資輸送などの経済活動に円滑に機能することが求められ、産業経済の基盤となってきました。道路が町の発展に果たしてきた役割は大きいものがあり、これからそれは変わらないでしょう。



県道石岡・下館線柿岡下宿付近

農産物輸送路として整備された広域農道



町の道路の改良率は39%

町の中の道路は、町で管理している町道、国や県の管理する国道、県道です。

町道については、せまくてカーブが多いというのが悩み。改良につとめていますが、総延長が長いため全ての町道が整備されるのはまだ時間が必要です。

ちなみに、町道の総延長は、一、二五七歳、県道は、八七歳、国道は、一歳、合

ります。町道は、まだ未改良の部分が多く町道全体からの改良率は39%程度です。

県道や国道は、概ね改良されていきますが、あらたな需要に対応した歩道整備やバイパス整備がすすめられています。

県西方面への連絡道である石岡下館線は、カーブの多い坂道であるため関係市町村が協力し、トンネル化の計画も含めて県の整備促進への働きかけをすすめています。



国道355号東成井地内

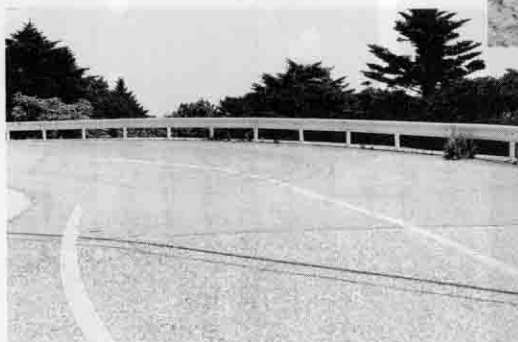


県道のバイパス工事がすすめられている川又地内

特集道路

道の風景 昔と今

昭和三十年代は砂利を敷いただけの道路。雨が降ると水たまり、乾くと土埃りという道路。県道石岡下館線の舗装は三十九年、町道は四十四年ごろから、直営工事も始まり、本格的に行われるようになりました。



⑤ 現在の湯袋線



筑波山への連絡道路として改良された広根場林道（現在の湯袋線）

④ 昭和36年当時

昔は砂利道めかる道



⑥ 現在の八郷高校付近



⑦ 県道寺田住宅付近昭和38年当時



⑧ 柿岡下宿付近昭和42年当時
⑨ 現在

観光ルートとして
快適な道路

道路は昔からくらくらべると、整備されてきましたが砂利道のころは考えられなかった暴走族などの新しい問題がでてきます。観光ルートの道路など訪れる人が安心して通れるよう安全施設の完備や道路美化の推進をお願いします。



大野光子さん
（大字小幡）

安心してくらせる
道路づくりを期待

通りから中へ入った道路は火災のとき大型のポンプ車など入れないところが多いと思います。道路の拡張などは地元の協力が必要になるでしょうが、安心してくらせる道路づくりをすすめてほしいと思います。



飯村博美さん
（大字上林）

これからの道づくり

活性化につながる

道路整備

町では、平成四年九月に都市計画区域の指定を受けました。これによって、町全域で、建物を建築する場合、建築確認が必要になりました。建築確認には、安全で快適な生活環境をつくっていくため道路幅員の確保や建ぺい率、容積率などの規制があります。防災、採光、通風といった居住条件を満たす適度な空間を確保することに

地域の特性を生かして

なり、密集地では不可欠です。

都市計画では、地域の特性によって、住居地域や商業地域、工業地域など用途地域が指定されることとなりますが、それぞれの地域形成や目的に添った活性化をはかるためには、効率的な道路体系の整備も必要になってくるでしょう。

町では、こうした道路体系の整備と合わせ、隣接するほかの市町村と広域的に効率よく接続する道路網の整備について検討がすすめ

今すすめている

主な道路

今年も、地域からの要望箇所をできる限り取りあげて道路整備をすすめています。現在すすめている主な箇所は次のとおりです。

〔改良工事〕真家地内町道一一三

号線延長一八六メートル、小幡地内町道

二二二一号線延長一〇〇メートル、吉生

地内町道二〇八号線延長六五五メートル、

大塚地内町道四一六四号線延長一

〇〇メートル、須釜地内町道二一七七号

線延長九二五メートル。

〔舗装工事〕小幡香取地内町道二

〇一一号線延長一六八メートル、瓦谷

両桁山寺地内町道五二〇二号線延長八八八メートル、二〇三号線延長一三〇

メートル、五二六〇号線延長八五五メートル、小

埜地内町道二二〇号線延長三六四メートル、四五二九号

線延長三三四メートル、真家白

幡地内町道六一六〇号線延長四六五メートル、真家東宝

ランド地内町道六二七五号線延長二五七メートル、柴内

地内町道八三三四号線延長五三七メートル、小幡中山道

内町道八六一六号線延長五〇八メートル、

戸ノ内地内町道七二九八号線延長三三二メートル。

〔排水工事〕宇治会地内町道五〇

二二号線延長二六〇メートル。

町と地域が協力して道路をまもる

道路事業は、町行政の四十年の歩みを振り返ると、常に重要施策として位置づけられ、取り組まれてきました。地域の要望によって新しい道路がつくられ、改良や舗装がすすめられてきました。幹線道路については、整備され

てきましたが、集落内の生活道路はまだ改良などがすすまない所が多く、地域からの要望に十分応えられないのが現状といえます。

道路の新設や拡張などの事業を円滑にすすめるためには、地域のみなさんの積極的な理解協力をお願いしなければなりません。また、町道は、町が管理することになっていますが、全面的に維持管理することはむずかしいので、集落内の道路の木笹ばらいや草刈り、清掃など区のみなさんの奉仕でお願いしています。これからも身近かな道路に目を向け、町と地域が協力して道路をまもりましょう。



町道改良工事真家地内

6月定例議会

一般会計1億5、848万2千円を増額

平成6年度八郷町議会第2回定例会が、6月13日から21日までの9日間にわたり開かれました。上程された議案は、平成6年度八郷町一般会計補正予算、平成6年度八郷町老人保健特別会計補正予算など5件で、いずれも原案どおり可決決定されました。ほかに、米輸入自由化に反対し、食糧の安全性と安定供給の実現をめざす陳情など3件、諮問1件、意見書1件が上程され、陳情2件が不採択になりましたが、そのほかはすべて原案どおり可決採択されました。主な内容については、次のとおりです。

高友山の町有地整地費など補正

一般会計の予算は、歳入歳出それぞれ1億5、848万2千円を追加し、予算総額は9億8、48万2千円となりました。

歳入では、個人市町村民税の減税による減収を見込み、1億5、980万円を町税より減額補正、地方譲与税は、普通自動車の譲渡に係る消費税の減収分として、90万円が減額されました。地域改善事業で行う道路改良舗装にともなう国庫補助金5、13

減収を補てんするための借入などの町債1億8、630万円が増額補正されました。

歳出では、都市計画課の設置による人件費の組み替えて、議会費、総務費、民生費、農林水産業費、商工費、土木費を補正、都市計画総務費に4、009万5千円が計上されました。

高友山の町有地を整地する経費や柿岡保育所進上路用地の購入費など総務費の財産管理1、511万円、交通安全協会八郷支部新役員の制服購入の一部を助成するため、交通安全対策費40万円、また、商業統計調査費、事業所名簿整備調査費などの県委託金が決定し、統計調査費の調査員報酬や事務費40万4千円がそれぞれ補正増となりました。

民生費は、町遺族会の研修、戦没者追悼行事へ一部助成するため社会福祉総務費に20万円、老人保健特別会計への繰出金295万4千円を増額、さらに、「障害者の明るい暮らし」市町村支援事業

による障害者のスポーツ大会の開催にあたり、当番町としての経費86万1千円が、身体障害者福祉費において補正増となりました。

園芸いばらき振興推進事業費は野菜産地としての地位向上を図るための計画策定やハウス施設などへの補助金として1、580万円、一人一木植栽推進事業を実施する経費として林業費において100万円が補正増されました。また、フラワーパーク、国民宿舎、ふれあ



いの森から繰り入れられた使用料を積み立てるため、農林水産業費、商工費の積立金がそれぞれ補正増になりました。

道路新設改良費は、地域改善対策事業で行なう町道改良舗装7、700万3千円、教育振興費の環境教育推進事業、学校体育研究事業の経費などが補正増となりました。

人権擁護委員に鈴木さんを推薦

諮問は、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてです。6月30日で任期満了となる大字上林の吉川浩さん(69)の後任に大字下林の鈴木史さん(61)が推薦されました。ほかに、大字東成井の菱沼芳雄さん(64)と大字柿岡の吉田廣司さん(65)が同委員を務めています。

人権擁護委員の職務は、(1)自由人権思想に関する啓もう及び宣伝、(2)民間における人権擁護意識の助長、(3)人権侵犯事件の救済のための調査及び情報の収集、法務大臣への報告、関係機関への勧告など適切な措置を講じる、(4)貧困者に対し訴訟援助、その他その人権擁護のための適切な措置を講じる、などがありますが、詳しいことをお知りになりたい方は、役場福祉課までお問い合わせください。

社会を明るくする運動を展開

法務大臣から

メッセージ

六月二十七日、町保護司会（永井清会長）の方々が役場を訪れ、桜井町長へ社会を明るくする運動に対して町の支援を要請する主旨の法務大臣からのメッセージを手渡しました。

保護司会のみなさんは、法務大臣から委嘱を受け、①家庭裁判所の決定で保護観察になった少年、②刑務所や少年院から仮釈放にな



桜井町長へメッセージを手渡す保護司会のみなさん

った人③保護観察付きの刑務執行猶予になった人の更生する意欲を尊重しながら助言指導にあたっています。さらに、地域のみなさんと協力して、犯罪や非行防止のための地域社会浄化の活動も行っています。七月の全国的な強化月間に際して、犯罪や非行防止への取り組みの輪を広げ、社会を明るくする運動の普及浸透に活動されています。

新治地方広域事務組合管理者

新治郡町村会副会長に桜井町長が就任

桜井町長が、六月二十四日付で新治地方広域事務組合管理者に、六月二十九日付で新治郡町



村会副会長にそれぞれ就任しました。新治地方広域事務組合は、八郷千代田、出島、新治の四町村で構成され、消防、ゴミ処理、老人福祉センター施設の事務を共同で行っているものです。ゴミ処理問題は、それぞれの町村が抱えた当面する課題で、対策に苦慮しているところとです。処理施設は、最近のゴミの量の増大によって、処

理能力が限界に達してきたため、増設をすすめています。新しい施設は、平成七年四月から稼働する予定になっています。管理者として就任にあたり、町長は「施設が新しくなりますが、量が増えればやがて現在と同じ状態になります。これまで以上にゴミ減量化への協力をお願いしていきたい」と話していました。

ゴルフ場での水質検査の結果はいずれのゴルフ場も指針値以下

水質検査報告の義務

区長全員協議会の席上「ゴルフ場で行われている『水質検査』の結果について、公表してほしい」との要望がありましたのでお知らせします。ゴルフ場における農業の使用については、町とゴルフ場の間で「環境保全協定」が結ばれているほか、県は「ゴルフ場における農業の安全使用等に関する指導要綱」を定めています。この指導要綱に基づいて、各ゴルフ場は毎年事前に農業の使用計画書を県に提出、年に三回以上排水の水質検査を行い、報告する義務があります。使用する農業の範囲は、要綱では、「農業取締法に基づき農林水産大臣の登録を受けた農業を使用すること」、「毒物および劇物取締法に規定される毒物または劇物に該当する農薬および魚類に対する毒性試験法によるC類の農業は避けること」と「農業取締法で指定された水質汚濁性農薬は使用しないこと」などの規制があり、使用を許可された農薬についても、環境庁から水質検査によって検出され

町内のゴルフ場は

当町の各ゴルフ場では、環境保全協定や指導要綱に基づいて、毎年十二月に翌年度の農業使用計画書を提出、四、五月、八、八月、十一月に町等の立ち会いのもとに水質検査が行われています。県による検査も含めて、昨年度までの水質検査の結果では、いずれのゴルフ場とも「不検出」、または、検出された指導指針を下回る数値でした。なお、ゴルフ場名につきましては、茨城県公文書の開示に関する条例第六条第八号に該当し、公表できませんのでご了承願います。

シリーズ 元気はつらつわれらの先生 (2)

「すっぱあまい」「って何ですか

今月は、東成井小学校六年二組担任の井坂真理子先生をたずねました。



井坂真理子先生

井坂先生は、水戸市から東成井小学校へ通勤しています。先生という仕事は、小さいころから夢みていた仕事なので、毎日がいきいきと充実しているそうです。

「六年二組の子どもたちは、のびのびしていて、明るく、しかられてもめげない子どもたちばかり、そんな子どもたちと、楽しく学校生活をすごしています」ということでした。

先生は、子ども達が時々忘れ物をしたり、話を聞かないでふざけている時は厳しくしかり、バツなど与えるそうですが、「子どもたちには約束事や決まった事はちゃんと守れる人になってもらいたい」という思いからで、「みんなには分

ってほしい」そして、これからの抱負は、「それぞれが温かく思いやりのある人に育ってくれることをねがって、日々の教育につとめていきたい」と話していました。

児童のみなさんから井坂先生についての話を聞いてみましたので紹介します。

Q とても素適な先生ですが、みなさんは先生のどんなところがいちばん素適だと思えますか。

A 何といってもピアノをひいている姿がいちばんすばらしい。やさしそうな先生ですがお



東成井小学6年2組のみなさん

Q 先生は、映画や旅行などの趣味のほかに、気分転換にファミコンをやるそうです。が知っていますか。

A 知っています。みんなには長い時間やると目が悪くなると注意しているのだから自分では時間を決めてやっているはずです。

Q 最後に先生にお願いしたいことがあります。

A 忘れもののバツにぞうきんがけがあります。けっこうキツイので何か別なバツをお願いします。

町長の日記帳から



念願の「吉生の森」完成

六月の主な動向はつぎのとおりです。

- 一日(水)県南総合事務所長歓迎会、県農産物輸出振興協議会
- 二日(木)県フラワーパーク園長、副園長辞令交付
- 三日(金)石岡地区交通安全協会総会、善光寺楼門保存修理委員会
- 五日(日)石沢地区集落センター竣工式
- 七日(火)湖北環境衛生組合議会、国保運営協議会
- 九日(木)町吟詠会総会
- 十日(金)県町村会定時総会、郡町村長会議
- 十一日(土)ライオンズクラブ創立二十五周年記念式典
- 十三日(月)二十一日(火)町議会第二回定例会
- 十五日(水)柿岡市街地区長との懇談会、老人大学卒業式
- 十九日(日)吉生小学校「はばたき橋」完成記念式
- 二十日(月)健康づくり推進協議会
- 二十七日(月)JR路線バス小見羽鳥線の運行継続要望の陳情
- 二十九日(水)三十日(木)農事実行組合協議会総会研修視察

吉生小学校の隣接地にこのほど、「吉生の森」が完成しました。中世の要害城跡といわれる同森は、周囲を空堀が巡り、見晴らしのよい高台にあります。以前は、竹や籐などに覆われ、人間が入れないほど荒れていました。そこを同校PTA(田仲義男会長)九十五名が中心になり、五カ月間にわたり土・日曜日を利用して清掃作業をした結果、見違える程きれいになりました。また、平成五年度の卒業生と保護者会(加藤白子会長)が、卒業記念として校庭から城跡へ渡るための「はばたき橋」を作りしました。多くの方々の努力により立派な森が誕生し、今後、学習、集会活動など、様々な教育活動に利用されることでしょう。「吉生の森」を作るため、地域が一丸となって協力されたことを目のあたりにし、これこそ教育力の向上に不可欠であると深い感銘を受けました。

町政モニター初会議

明日の町づくりにご意見を

ことしで七期を迎える町政モニターの第一回会議が七月四日、中央公民館で開かれました。

会議では、まずはじめに委嘱状の交付、モニターの自己紹介がなされ、町長から町政の概要について話がありました。

その後、活発な意見や質問がモニターの皆さんから出されました。

内容は、庁舎跡地利用、町の広報設備（ケーブルテレビ等）、地域発展の公平化、税収の見込み、保育所の冷房施設の整備など身近な

話題が熱心に話し合われました。

町政モニター制度は、皆さんのそれぞれの生活のなかから町政に対してのご意見、ご提案などをおいいただき、それを町政に反映させ、豊かで希望のもてる町づくりに役立てるものです。任期は委嘱された日から、平成七年三月三十一日までです。

モニターの活動内容は、モニター通信、アンケート調査、モニター会議、施設見学などです。

モニターの皆さんから寄せられたご意見、モニター会議でのご提案、アンケートの調査結果は、次の様に処理し町政に生かしていきます。

(1)モニター通信やモニター会議での意見などについては、町づくりの企画や町政執行の参考にするほか、関係課室局所に送付して必要と認めるものについては、回答をいたします。

(2)アンケートの調査結果は、町づくりの企画や町

政執行の資料といたします。

町政モニター紹介

永山 義明（29歳・商業）柿岡
井野万里子（43歳・主婦）柿岡
谷田部淑子（45歳・主婦）柿岡
水野喜久枝（39歳・主婦）柿岡
高橋 光江（45歳・農業）下青柳
潮田 栄一（43歳・農業）細谷
田村 正夫（40歳・商業）加生野
藤代 幸子（45歳・主婦）小山田
田仲 義男（42歳・会社員）吉生
谷仲 克男（57歳・農業）太田
友部 稔（40歳・建築業）太田
前沢三枝子（38歳・自由業）大塚
小河原かよ（43歳・主婦）瓦谷
諸星キクイ（45歳・主婦）瓦谷
鈴木 茂（42歳・農業）部原
日出山孝子（33歳・主婦）山崎
飯村 久恵（41歳・主婦）山崎
野口 悦子（46歳・農業）山崎
穂坂 君子（54歳・農業）真家
村上 よし（45歳・主婦）下林
阿部 豊（34歳・農業）下林
島田 浩美（34歳・主婦）嘉良寿理
富田 正美（46歳・農業）川又
小松崎榮治（70歳・農業）弓弦

順不同・敬称略

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

ふるさとまつり 楽しい催し物がいっぱい



夏本番を迎え、暑さも本格的になってきましたが、お子さんたちにはうれしい夏休みの季節です。そこで今回のフラワーパークのお知らせは、お子さんを中心とした楽しい催し物「ふるさとまつり」についてです。

開催期間は、八月十三日（土）から十六日（火）までとなっています。ただし八月十五日（月）は休園日となります。

内容は、中学生以下のお子さんを対象とした「チビッコ宝さがし」。園内にかくされた宝箱から秘密のカードを集めゴールするとステキな賞品が待っています。開催時間は午前十時から午後三時までです。

また、緑日でおなじみの「水ヨーヨー祭り」を一回五十円で楽しんでいただきます。その他、八月十四日（日）の午後二時三十分からは「ハイビスカスとブルーゲンピレア」に関する園芸教室を参加料無料で開催します。

夏を代表する花についての教室ですので、皆さんぜひご参加ください。

茨城県フラワーパークの開園時間は、午前九時から午後五時までです。（入園は、午後四時三十分まで）

なお、毎週月曜日（月曜日が祝・祭日の場合はその翌日）は休園ですのでご注意ください。

いきいき

グループ活動 ①

サッカーを通じ友情をはぐくむ



八郷町サッカー少年団

サッカーを楽しむことを一番の目的としています。会員数は百十名。入会は小学一～六年生を対象とし、会費は年一万二千円です。練習は総合運動公園で、毎週土曜日の午後一時三十分から四時三十分まで行っています。また、地元チャレンジリーグに所属し、日曜日には対外試合に参加しています。少

年期には、これ以上の練習や試合は必要ないと考えて、楽しんでサッカーをしているグループです。「子どもたちにはサッカーを通じ、友情を深めてもらいたい。親子はむろんのこと、親同志のコミニケーションも広がり、豊かな人間形成の場となってくれば幸いです」とは指導者の方々の共通の思いです。

◆代表者は魚住道郎さん

連絡先は八郷町嘉良寿理三四八

☎四三二六八二六

音楽の好きな女性のグループ

コール有明

地域の人々とのふれあいの輪を広げながら、良き音楽、美しい詩に触れ、感性を磨き、人間性の資質の向上を目指している女声コーラスです。

会員は現在二十名。入会は音楽の好きな女性ならどなたでも結構です。皆さんも美しい音楽に触れてみませんか。会費は「一月千円」です。

練習は、毎週木曜日の午後七時

三十分から九時三十分まで、中央公民館で行っています。

「楽しく和やかに」を会のモットーにして毎週楽しく集っています。

年間行事として、茨城県合唱祭、土浦石岡地方女声合唱の集い、町の公民館まつり、県ふるさと歌唱大会など四～五の大会に出場しています。

◆代表者は小河原和子さん

連絡先は八郷町部原七四一
☎四三二二二〇二



●最近気になる病気

進歩する糖尿病治療

石岡市医師会病院

内科 後藤 厚医師



日本における糖尿病患者は、五百万人とも六百万人とも言われ、現在では四十歳以上の十人に一人は糖尿病だと考えられています。これだけ多くの人が糖尿病を患っているのに、ほんとうに真剣にこの病気と闘っている人が少ないのは、たいへん残念なことです。逆に、多くの人が糖尿病で苦しんでいるがために健康雑誌が多数出版され、いろいろな民間療法を試みている人が多いのも事実です。しかし、残念ながら未だに患者さんにとって本当に楽な治療法はないのです。

さて、糖尿病の治療の主体は現在でも食事療法と運動療法であることには変わりありません。これらを十分に行った上でないと薬物療法をしても効果が上がりません。飲み薬では、最近小腸での糖分吸収を遅らせる薬が使えるようになり、軽症の糖尿病の患者さんに効果が期待されています。ただし、他の糖尿病の薬と併用すると低血糖症等の副作用がありますので、注意が必要です。インスリンの注射では、カートリッジ式の万年筆の様なペン型の注射器が使われるようになり、痛みもほとんどなく、準備が容易、携帯に便利で視力の弱い人にも利用し易くなりました。

また、血糖を自宅で測定できる器械も一般に普及し（自費で二、三万円程度）、家に居ながらにして簡便に血糖の管理ができるようになりました。この自己血糖測定には試験紙が必要ですが、インスリン注射を行っている人は保険が使えます。インスリン注射以外の患者さんも自費で実施可能で、検査一回分百円程度の負担で済みす。

これらの薬や器械は、どの医療機関でも扱っているという訳ではありませんので、かかりつけの医師にご相談ください。

わたしの手料理

中華風

えびどんぶり



食生活改善推進員 軽部 敏子（上曾）

材料（4人分） えび（中）16尾 にんじん50g しいたけ2枚 たまねぎ200g キャベツまたは白菜150g コンソメスープの素1個半 水1.5カップ かたくり粉大さじ3 酒大さじ1 サラダ油大さじ2 しょうが少々

作り方 ①えびは皮と背わたをとり、酒と塩をふりかけておく。

②鍋に湯を沸かし、にんじんは3cmの短冊切り、キャベツはあらく切って、にんじんを先にゆで、そこにキャベツも入れてしんなりしたらざるに取る。

③しいたけは4つ切り、たまねぎはくし形に切る。しょうがは細いせん切りにする。

④中華鍋にサラダ油を熱しえびと野菜を加える。よく混ぜながら炒め、コンソメスープの素をといたスープ1.5カップと塩少々を入れ、えびに熱が通ったら、水溶きかたくり粉でとろみをつける。

⑤どんぶりにご飯を盛り、4分の1を上にかける。季節の緑を少しそえる。

わが家の思い出

柿岡

鈴木智大（ちひろ）ちゃん

父 隆之さん 母 初美さん
平成4年10月10日生まれ（長男）

家族からの一言

自動車が好きで、バスが家の前を通ると、にっこり笑顔に。食べ物の好き嫌いはなく、なんでも食べるので助かります。思いやりのある、（心も体も）大きな子に育ってほしいです。



四季おりおり

八郷の歳時記

⑦



蚊帳

現在はこの地域でも下水道が整備され、強力な殺虫剤が出現してめつきり少なくなったが、プーンと来て、チクリ、と刺す、この小さな形の蚊に人間は長い間悩まされ続けて来た、従って防ぐ手だても昔からいろいろと講じられていた。

夏の夕べ、炊煙と共に流れる煙・物を煙して煙を立て、蚊を追ひ払ったのが蚊遣の煙りである。

煙べるものは、木屑、杉の青葉、柑橘類の皮・おが屑・蓬などがよく使われた。木屑は、クスやカヤの木片が効果があると言われ、特にカヤの木は蚊遣火に焚くからカヤリの木と呼び、いつか詰ってカヤの木になったという。

後に除虫菊がよく効くことがわかり花や茎葉を粉にして、香取線香が作ら

れるようになった。

蚊遣の外に蚊を防ぐためには蚊帳を吊った。夏の夜には欠かすことの出来ぬ寝具の一つである。

どこの家でも部屋の四隅の柱や長押鴨居に曲り釘が打ってあり、これに吊り手という羽織の紐と同じような形で長さ五十センチ位の丸打ちの紐の先に

夏の夜には欠かせなかった蚊帳

鉤のついたものが下がっていたが今はほとんど見かけなくなってしまった。

虹帳も座敷の広さに合わせ四畳半吊から十畳吊など様々なものがあつた。

生地も絹、紗など絹糸ものから麻布、綿布物があつたが半麻物が多かった。

萌黄（緑色）に染めて赤の緑布をつけ

るのが普通であるが、白色や水色、中には絵模様を染めたものもあった。

蚊帳の四隅に乳布を縫いつけて環を通してあり、長押などに下げてある紐の鉤に掛けて蚊帳を吊ったのである。

戦時中、真鍮で作られたこの環は皆武器に使うという目的で供出させられてしまい姿を消してしまった。

蚊帳は蚊を防ぐ外、雷鳴の烈しい時「蚊帳の中に入っていると難をのがれる」

などともいわれ入っていたものだった。

蚊帳は嫁入り支度の一つでもあり、その冬に嫁入りした花嫁は五月の節句に里帰りし、新しい蚊帳を調達して嫁家へ戻るのが習わしとなっていた。

部屋毎に蚊帳吊り一家健やかに
広報やさと俳句選者 綿引鼓峰

みんなの広場



妖狐ノヤマ



100%



おバカゆきぼたん



猪内 野山真吾



フィッチェ



未冬

私もひとこと

八 郷町に越して来て二年になりましたが、一番気になった事はゴミのなげ捨て。きれいな水が流れる川に「ゴミ」。美しい緑の中に「ゴミ」。すばらしい自然は八郷町の宝物だと思います。皆さんゴミのなげ捨てはやめようね。きれいな町にしましょう。

東成井 鈴木学美(32)

◆ 鈴木さんの意見に同感です。これは一人ひとりの自覚の問題だと思います。「自分だけなら…」と安易に考えて、ゴミを捨てると、いつのまにかゴミが増えてしまいます。町内に限らずどこへ行っても、ゴミのなげ捨てはやめたいものです。

広報係

我 が故郷に家族と共に越してきて二年半がたちます。以前に利用

習字コーナー

評 (財)独立書人団審査会員 関 翠 邱

柿岡小四年 川井麻衣

努力

たつぷりと墨を含んで堂々と力強く、ねばった書きっぷりでよくできました。

柿岡小四年 岩淵陽子

地方

伸び伸びして骨組みもしっかりしていますし、明るく落ち着きのある感じのいいお習字です。

していた、児童館、図書館などもなくさみしい気がします。いつの日か、この八郷町にも子どもたちから大人までもが利用できる、大きな図書館、並びに子どもたちが遊べる児童館などできる日を期待しています。また、希望でもあります。新緑のすてきなこの町にいつの日か…。

柿岡 岡崎和代(43)

◆ 町には現在、図書館はありませんが、図書室が中央公民館にあります。

中央公民館が開館している間は、利用できますので、ぜひご利用ください。

しかしながら、図書室は狭く、図書も限られてしまう状態です。やはり図書館の建設が望まれます。

今のところ、図書館や児童館の具体

的な建設計画はまだできていません。しかし、それらの施設はこれから必要なのですので、将来の建設に向け、努力していきたいと思っています。

中央公民館

八 郷に生まれて六十年、今は広報「やさ」とが届くのが一番楽しみです。家庭学習の一コマ、これからも胸をふくらませて楽しみに待っています。

下林 額賀力江(60)

次 男(四歳)が私のサイフを冷凍庫に隠してしまい、見つからなくて困りました。次男に聞くと「ここだよ」とサ。サイフはひんやり。今の子らしいのかな。

一児の母より

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 76

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①道路を守る月間は毎月？

(A) 8月 (B) 9月 (C) 10月

②六月の議会は第何回定例会で
しょう？

(A) 第1回 (B) 第2回

(C) 第3回

③7月8日に救助法訓練を行った
小学校は？

(A) 園部小学校
(B) 東成井小学校
(C) 柿岡小学校

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ76と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成6年8月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙9月号

【広報クイズ74の当選者の発表】

正解は1-B、2-C、3-Aでした。
応募総数37通、正解36通の中から
次の10名が当選しました。

込山めぐみ(下青柳) 鬼澤恵美子
(小幡) 木村はる江(上曽) 細川
孝子(小幡) 米栖秀樹(柿岡) 萩
原志づ(月岡) 植田志ん(根小屋)
山口節子(上林) 岡崎和代(柿岡)
込山とし代(小幡) 【敬称略】



RAMU



YOUKO・K



翼

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

七五三祝の記念樹かりんの木六年たちて十ヶ実のつく

月岡 萩原照子

再びのふる里の山河住みたれば都落ちかと人は言うなり

下林 加藤保州

巣を出んと構える子燕を導くがごとくさえる親の燕は

大塚 宇田きよ

俳句

綿引 鼓峰選

雨にぬれ色極まりし七変化

東山崎 小松みき

紫が好き花桐の頃が好き

東成井 小池 亀太郎

俚謡

鈴木 弦月選

廻り道していつもの場所に初音聞きつつ一休み

瓦会 桜井紅霞

手塩かければ不出来な苗も花を咲かせりや実もつける

柿岡 上曾 酔人

人生長旅片道切符逆にや回らぬ戻りやせぬ

下林 島田 レイ子



こんなにたくさんジャガイモが
掘れたよ。どうやって食べようか
な。(林保育所の子どもたち)

やさ
と
点
描

「まち」の「話」題で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課内線一二三)

婦人会で消費生活の講演会

婦人会消費生活研修会が六月二十日、中央公民館で行われました。研修会は、今を賢く生きるため必要な知識を身に付け、自ら進んで合理的な暮らしができるようにという趣旨で開かれ、茨城県消費生活コンサルタントの渡辺澄子さんを招き、講演会が行われました。

渡辺さんは、茨城県消費生活センター

発足と同時に消費生活相談員第一号として活躍され、現在でも年間五十回の講演活動に飛び回っています。講演会は今を賢く生きるための知恵として、食品添加物や訪問販売のことなどを分かりやすく話す内容でした。出席した婦人会員や婦人学級生など三十五名は、熱心に耳を傾けていました。



「吉生の森」で遊ぶ子どもたち



はばたき橋

吉生小学校に「はばたき橋」完成

吉生小学校の「はばたき橋」が五月二十八日に完成し、六月十九日に記念式典が行われました。この橋は、吉生小学校校庭と隣接する雑木林「吉生の森」を連結するもので、平成五年度卒業生一同による卒業記念でもあります。

小学校PTA会員の皆さんは「学校隣接の雑木林を利用して子どもたちの教育がでないか」と考え、森の建設を始めました。今年の二月にPTA会員の全体奉仕で山掃除が始まった後、山林内に遺跡としての城跡があることが分かり、形を壊さないよう利用することになりました。

た。その後三月から五月にかけて、卒業生と保護者、PTA会員の皆さんの奉仕活動で、雑木林の清掃や「はばたき橋」の建設が行われました。そしてたくさんの人たちの努力と熱意が実り、完成の日を迎えたのでした。

森の活用としては学習や集会活動、野外給食などに使う計画があります。現在「吉生の森」は、子どもたちの遊び場になっていて、休み時間になると楽しそうな喚声があがります。子どもたちはここで学び、様々なことを経験し、豊かな人間性を培っていくことでしょう。

ときめき
ティータイム

吉田圭子（柿岡・21歳）さん

最近、会社でバドミントンを始めました。趣味は料理かな。早く得意になりたいです。



■六月号の訂正 三ページで新庁舎の工期が十二月二日になっていましたが、十二月二十日の誤りでした。七ページの生涯学習指導者赤羽根もんさん（小桜）の茶道は書道に、十五ページのスポ少大会のソフトボールは野球に訂正しておわびいたします。係といたしましても今後十分気をつけたいと思っております。



子ども自転車大会で林小学校大活躍

第三十一回交通安全子ども自転車茨城県大会の石岡地区大会が、六月十日に石岡市総合運動公園で開催されました。この大会に林小学校の二チームが出場し、二位と三位に入賞しました。

同大会は正しい自転車の乗り方を身につけると同時に、交通安全の実践と普及を目的に行われるもので、学科と安全走

行テストなどの実技で競技されます。

林小学校からは、五、六年生の中から一チーム五人づつ十人が選ばれ、先生方の指導のもと、休み時間と放課後、早朝にも練習して大会に臨みました。同校は何度か大会に出場していますが、このような良い成績を残せたのは初めてとあって、子どもたちの喜びはひとしおでした。

「ふれあいの森」に万葉の歌碑

八郷ライオンズクラブによる「万葉の歌碑」が、フラワーパーク「ふれあいの森」にこのほど完成しました。同クラブは八郷町にゆかりのある「万葉の歌碑」を、クラブ創立の節目ごとに建立してきました。今年はクラブ創立二十五周年にあたり、今回で五基目になります。

歌碑は、「ふれあいの森」の頂上、ふ

れあい芝生広場に建てられており、この歌碑を見るために、頂上まで来る方もいるそうです。

なお、他の四基の建立場所は高友・丸山古墳山頂、湯袋・国民宿舎前庭、湯袋・ライオンズ広場（二基）です。機会があったら、訪れてみてはいかがでしょうか。

クロッケー大会四十三チームが参加

春季町民クロッケー大会が六月十六日、総合運動公園で開催されました。

試合は、四十三チームが四ブロックに分かれ、約百八十名の皆さんが熱戦を繰り広げました。

各ブロックの成績は次のとおりです。

Aブロック ▽優勝林中央 A▽準優勝根

小屋▽三位鶴沼C

Bブロック ▽優勝林中央 B▽準優勝半

田二▽三位東成井A

Cブロック ▽優勝声穂第四▽準優勝林

竜の口▽三位月岡一

Dブロック ▽優勝月岡二▽準優勝瓦会

第三▽三位園部第三B



職員の異動

次のような職員の異動がありました。

〔六月三十日付退職〕

▽久保田 國子

（給食センター調理師）

〔七月一日付新採〕

▽白 井 美 樹

（給食センター調理手）

芦穂小学校校舎に

（社）文教施設協会協会賞

平成六年度公立学校優良施設表彰で、芦穂小学校校舎が、（社）文教施設協会協会賞の、多様な学習空間部門賞を受賞しました。

表彰は（社）文教施設協会の事業として行われ、他の学校整備に参考となるような施設に与えられるものです。

八郷町でこのような賞を受けるのは初めてのことになります。



水の事故防止

もしものときに備えて救助訓練

本格的な夏に入り、毎日暑い日が続きます。この季節、子どもたちが夏休みということもあって、海やプールへ出かける機会が多くなりがちです。また、それに伴って、水の事故の危険性が高くなる時期でもあります。幸にして、八郷町での水の事故は過去三年間ありません。しかし、もしものことを考えて、十分な注意は必要です。おりしも、救助法の訓練が七月八日、東成井小学校で行われました。その模様をふまえながら、水の事故防止や応急手当について、もう一度確認してみましょう。



東成井小で行われた救助法の訓練

東成井小学校で行われた救助法の訓練は、先生方と父母の皆さん約三十名が参加し、八郷消防署員の指導のもとに行われました。水の事故は、もし起こってしまった場合、一刻を争います。三分以内では約七十五%が助かりますが、十分以上経過すると助かる率は〇%ということ。つまり、救急車が到着するまでの処理が、助かるか助からないかに大きくかわってくるのです。

訓練は、レサシアン（人形）を使い、人工呼吸や心臓マッサージを皆さんで交替に行いました。それでは、おぼれたときは実際のどのようにすればよいのでしょうか。

「水の事故の応急手当」
○おぼれた人の助け方
泳ぎに自信がない人が助けるときは、自分もいっしょにおぼれる危険があるので、竹ざおやロープを投げて助けます。自分で助けるときは、まず落ち着くこと。無理なときは、大急ぎでだれかの応援を頼むことが第一です。

○おぼれた人の応急手当

①意識がなく、呼吸もしていないようだったら、一刻も早く頭を後ろにそらせて人工呼吸を始めます。心臓が止まっているときは、心臓マッサージをすることが大切。

②飲み込んだ水が人工呼吸を続けているとき吐きそうになったら、顔を横に向けて出やすいようにしてやりま。

③救急車が医師を急いで呼ぶ一方人工呼吸を続けま。自分で少しでも呼吸をはじめたら、それに合わせて空気を吹き込んでやりま。

水の事故の場合、救助法も大切ですが、それよりもっと大事なことは事故の防止です。次に事故防止の主な注意点をあげてみま。

「水の事故防止の注意点」

①泳ぎに自身があつても、一人だけでは泳がないこと。

②水泳は海でも川でも、またプールでも、監視人のいる安全な場所で行うこと。

③はじめての場所でききなり泳がないこと。危険物があるかもしれない。

④疲れているとき、体調が悪く、熱があるときとか、食事をしてすぐには泳がないこと。

⑤自分の泳ぐ力をわきま、過信しすぎないようにしま。

⑥遊泳中、体に異変があつたり天候が悪くなつたら、泳ぐのをやめま。

⑦家庭内では、風呂場や池など水のあるところで、わずかな時間でも一人だけにしないように注意しま。

⑧幼児だけで小川や池の近くで遊ばないようにく注意し、遊ばせるなら必ず中学生以上のだれかがいるようにしま。



楽しいプールを安全に